



『活きていることわざ』

船橋市議会議員

神田 廣栄 (かんだひろえい) 議会報告

【事務所】船橋市前原西8-24-8 ☎490-3333 FAX 465-7117

Eメール hiroei@muc.biglobe.ne.jp

ホームページ <http://www.hiroei.jp>

伸(の)るか反(そ)るか・青天(せいてん)の霹靂(へきれき)

【伸るか反るか】◇成功するか失敗するか、運を天にまかせて思い切ってやってみることのたとえ。

・体が前かがみになるか、又はのけぞるか、という意から。

【青天の霹靂】◇思いがけなく突発的に起こった出来事、大事件のたとえ。また、それについての衝撃のたとえ。

・「青天」は青空。「晴天」とも書く。「霹靂」は、雷鳴。

この度の市議会議員選挙では、3394票という大変大きな数字で2期目の当選をさせて戴きました。本来であれば「ありがとうございました」と、お礼の言葉を述べたいところですが、公職選挙法という法律により、礼を失いますがそれができないことになっています。人間の心を持たない全く馬鹿げた法律です。

しかしながら、選挙戦でお約束した『不安を安心に』『不満を満足に』すべく全力投球で市政に取り組んでまいります。そして、徹底して無駄を無くして税金の有効活用をはかってまいります。6月4日から開会の6月議会から早速提案と質問をしてまいりますので、どうぞご期待ください。

①臨時議会での新議長・副議長選出の見える部分

既に報道されておりますが、5月20日に臨時議会が召集され、議長・副議長の選出が行われました。21日には常任委員会の委員長と副委員長や監査委員、農業委員等の選出を行いました。議長の選出となると、以前は徹夜が当たり前でした。今回は遅くとも午後10時を目安にして、決着がつかない場合は翌日に持ち越すことになっていましたが、大体時間内で決着がつかしました。

船橋市議会は今まで、議長職は長老議員や当選回数が多い人から選出する習わしになっていました。私は、議会質問を全くしない人や、人格や能力等は全く関係なく、議員仲間で評判の良くない人でも、多数派工作により誰でも議長になれた、ということに強い不満を持っていました。



古い時代はそれで良かったのかも知れませんが、もうそんな時代ではあ

りません。今回は間に合いませんでしたが、次回からは立候補し意見を述べて全員で投票することになるかも知れませんし、そのように適材の方が議長となるべきです。



ところで、残念ながら今回も多数派工作がありました。日本国首相と同じ党の公認の方が大勢所属しているある会派が、自派から議長を出そうと多数派工作をし、こともあろうか、イデオロギーの全く反する某党や、市長に対していつも批判的な会派と組み、擁立した議長候補者に投票したのです。『伸るか反るか』の一発勝負のように感じました。

通常は、それぞれの会派が議長候補者をたて、その後調整して一本化していくのが常でしたが、その調整がうまくいなくて、前代未聞の多数派工作をしたのです。23票対26票と、最終的にその工作は無駄骨となってしまいました。もちろん私は26票のひとりです。

その後に副議長の選挙を行い、議長選挙と全く同数の得票で、私の会派の議員が副議長となりました。どちらも良識のある結論であったと思います。少しずつですが議会も改革されてきていると実感できました。

②「建設委員会」と「広報委員会」に所属しもっと議会改革します

私は5つの常任委員会のうち「建設委員会」に所属しました。委員長に立候補し、他に誰も立候補者がいなかったため、すんなりと委員長になれたのです。しかし、狡猾(こわく)な駆け引きがあったりしたので、議会や市政が円滑に進むように、会派代表の立場上(前日の20日に、所属する会派新風の代表が副議長となり、副議長が代表にはなれないということで、私が『青天の霹靂』で代表になりました)、委員長を辞退し、他の議員に譲ったのです。これからは一委員としてどんどん意見を述べていきます。



他に、初めて「住居表示審議会」の委員と、1期目に4年間携わってきた「広報編集委員会」に再び所属し、今度はその委員長となりました。何故「広報編集委員会」の委員長となったかといいますと、以前より読みやすくなったと評判の議会だよりの中身を更に改革したかったのです。例えば、今まで一回も掲載したことがなかった常任委員会の視察の報告を掲載したり、議会の報告だけだった紙面に、議会からのお願いや議会がもっと理解してもらえる内容を発信したいのです。

2期目も「本音勝負の神田ひろえい」でまいりますので、どうぞご期待ください。

